

平成 30 年度事業報告書

近年、地域経済・地場産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況であるが、当センターは地場産業の振興拠点施設としての機能を強化しながら、効果的な事業運営に努めた。

平成 30 年度の取り組みとしては、1 階ロビーにおいて企画展示を開催し、県内外の多くの方々に伝統工芸品の PR を図り、展示販売場への集客にも繋げた。

一方、当センターの情報発信強化のため、イベント情報や季節商品群の紹介などを記載したチラシ(季刊)を作成し、誘客活動を積極的に実施するとともに、地場産業の情報提供・収集を実施した。

また、販路開拓事業として今年度も「第 87 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2019」に出展し、県内の伝統工芸産地の紹介と新規顧客獲得に向けた需要開拓に努めた。

主な資金収支内容としては、事業活動収入の展示販売場売上が 25,185 千円と対前年 2,260 千円の増収であったものの、高岡市受託事業の高岡御車山会館ギャラリーショップ運営が 3,600 千円と対前年△750 千円の減収、受取補助金収入は 46,393 千円と対前年△6,553 千円の減収となった。事業活動支出では事業内容の見直しや経費縮減などを積極的に進めた。その結果、事業活動収入計は 100,432 千円、事業活動支出計が 92,865 千円で収支差額は 7,567 千円となった。

また、投資活動収支では、揚水ポンプ入替工事及び正面ポーチ改良工事等を実施し、投資活動支出は 1,606 千円で収支差額は△400 千円となった。

財務活動収支においては、長期借入金の返済により、収支差額は△7,165 千円であった。

以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額は 2 千円になり、前期繰越収支差額 10,252 千円を加えた次期繰越収支差額は 10,254 千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1)高岡地域地場産業センター設置管理事業

施設改修及び清掃や修繕により、利用しやすい施設維持を行なった。

- ・揚水ポンプ入替工事及び正面ポーチ改良工事等

(2)施設貸出事業

施設の貸出を行う中で公益目的事業に合致した事業を行うものについては、期間・利用料について施設利用規程に基づき優遇措置を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1)販路開拓事業

伝統工芸品産業支援事業を活用し、各伝統的工芸品産地から出展希望事業者を集い全国的な見本市である「第 87 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2019」へ出展した。出展においては、各出展企業がより効果的に商品紹介がおこなえるようブース設計業者と連携し展示空間をプロデュースした。また、展示会では積極的に高岡地域の伝統的工芸品の PR および需要開拓に努めた。

「第 87 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2019」

- ・期 間 平成 31 年 2 月 12 日(火)～15 日(金)
- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明 3 丁目 11 番地 1 号)
- ・出展数 10 社、284 点
- ・来場者数 全体で 191,592 人
- ・会期中成果 商談件数 236 件、見積依頼件数 35 件、成約件数 14 件

(2)地場産業品普及事業

①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに高岡地域の伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、地場産品の PR を行った。また、当センターにおいても全国の地場産業振興センター等の伝統工芸品を展示販売するイベントを開催することで地場産品の普及向上に努めた。

ア「じばさんフェア 2018」への出展

- ・期間 平成 30 年 11 月 10 日(土)、11 日(日)
- ・場所 山口・防府地域工芸・地場産業振興センター

イ「燕三条じばさん年末フェア 2018」

- ・期間 平成 30 年 12 月 1 日(土)、2 日(日)
- ・場所 燕三条地場産業振興センター1 階多目的ホール

②観光関連事業への参加協力

ア「三協アルミ 2018 新商品展示会に伴う特産物販売」への出展

- ・期間 平成 30 年 4 月 7 日(土)
- ・場所 静岡県静岡市 ツインメッセ静岡

イ「高田城百万人観桜会」への出展

- ・期間 平成 30 年 4 月 15 日(日)
- ・場所 新潟県上越市 高田公園

ウ「MSC スプレディダ寄港に伴う物販」への出展

- ・期間 平成 30 年 5 月 8 日(火)
- ・場所 富山県高岡市 伏木万葉ふ頭

エ「第 67 回金沢百万石まつり 加賀百万石「盆正月」」への出展

- ・期間 平成 30 年 6 月 2 日(土)、3 日(日)
- ・場所 石川県金沢市 金沢城公園

オ「第 30 回多賀城あやめまつり」への出展

- ・期間 平成 30 年 6 月 16 日(土)~6 月 30 日(土)
- ・場所 宮城県多賀城市 多賀城跡あやめ園

カ「ねんりんびっく富山 2018 総合開会式会場」への出展

- ・期間 平成 30 年 11 月 3 日(土)
- ・場所 富山県総合運動公園陸上競技場

キ「北陸新幹線沿線都市民間交流会議 物産フェア」への出展

- ・期間 平成 30 年 11 月 17 日(土)、18 日(日)
- ・場所 群馬県高崎市 慈光通り

③高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

本館展示場において、伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。また、季節ごとの企画展示などを充実させ、より興味を深めてもらえるよう工夫し、来館者の増加に努めた。

④「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営

山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。

(3)来館者誘致事業

県内外の旅行エージェント等に対して地場産品や当センターの情報提供を積極的に行い来館者の誘致に努めた。新高岡駅の新高岡駅観光交流センターGALLERY MONO-FUや高岡御車山会館ギャラリーショップに当センターのポスターやチラシを掲示するなど、3施設間相互の誘客に努めた。

(4)地場産業情報提供事業

①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページを活用し、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるよう情報発信に努めた。

②高岡地域地場産業センター展示スペースを利用した情報提供

1階ロビーを活用し、イベント展示スペースを設け、情報提供を行った。

ア 高岡銅器協同組合 新商品・夏商品等の展示会

- ・期間 平成30年7月23日(月)～9月10日(月)
- ・協力 高岡銅器協同組合

イ 第48回高岡漆器展示会

- ・期間 平成30年9月19日(水)～10月19日(金)
- ・協力 伝統工芸高岡漆器協同組合

ウ 地場産特別企画 from 丹後

- ・期間 平成30年10月12日(日)～11月14日(水)
- ・協力 京都府丹後地域地場産業振興センター

エ 新仏具展示会

- ・期間 平成 30 年 12 月 12 日(土)～平成 31 年 1 月 31 日(木)
- ・協力 高岡仏具卸業協同組合

オ 越中和紙特別展示会

- ・期間 平成 31 年 2 月 1 日(金)～平成 31 年 2 月 28 日(木)
- ・協力 富山県和紙協同組合(八尾和紙)

カ 新商品展示(ギフトショー出展商品群)

- ・期間 平成 31 年 2 月 25 日(月)～平成 31 年 3 月 31 日(日)
- ・協力 第 87 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2019 へ出展した
県内産地企業 10 社

③県内地場産品の情報提供を目的とした産業資料館の充実

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより
伝統工芸品の普及を図った。

3 人材育成事業

(1)青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、
産業資料館を活用し、小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援した。体験実習
及び見学に訪れた人数は 1,665 人(昨年 1,789 人)であった。

また、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援を行った。

①「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示販売所、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学
校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。

平成 30 年 6 月 7 日を初回に、年間 26 日間にわたって延べ 21 校(38 クラス、1,126
名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学 5 年生 18 校 (32 クラス、920 名)、小学 6 年生 4 校 (6 クラス、149 名)
錫の鋳込みを実習

イ 漆器の体験

中学 1 年生 1 校 (2 クラス、57 名)
螺鈿貼りを実習

ウ 産業資料館の見学

小学5年生7校（12クラス、375名）、小学6年生3校（4クラス、107名）

中学1年生1校（2クラス、57名）

②教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日（6時間）の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数7名。漆器体験講座受講者数10名。

- ・漆器体験講座 平成30年7月26日(木)、8月1日(水) 午前9時～12時
- ・鋳物体験講座 平成30年7月26日(木)、8月1日(水) 午後1時半～4時半

(2) 工芸技術体験普及事業

高岡市民はもとより幅広く工芸技術を体験できる機会を提供した。また、観光者が気軽に立ち寄り体験できるよう毎月日曜、祝日に1名からでも受け入れる体験事業を実施した。

- ・鋳物体験（ミニ水盤、ぐいのみ） 18団体274人(昨年度447人)の参加
- ・少人数受入れ鋳物体験（ぐいのみ） 145人(昨年度97人)の参加
- ・漆器体験（ペンダント、ミニパネルなど） 5団体132人(昨年度189人)の参加

(3) 産学官連携事業

平成21年度から育成していた漆木は、昨年の大雪の影響もあり生育状態が例年に比べ悪化したことから専門家による目視調査を実施した。専門家からの意見として今後の成長の可能性が低いことと漆を採取できる年数が来ていることから、漆掻きを実施した。漆掻きにおいては、県内在住の漆掻き職人の指導のもと漆器職人や富山大学芸術文化学部学生などと連携し、採取した。

①漆木育成及び漆掻き作業

- ・連携団体 高岡市、富山大学芸術文化学部、伝統工芸高岡漆器協同組合、高岡地域文化財等修理協会、鞍馬寺自治会
- ・日程 平成30年6月3日(日) 第1回草刈り
平成30年6月26日(火) 漆木の育成調査
平成30年6月29日(金)～7月31日(日) 倒木処理作業
平成30年7月22日(日) 第2回草刈り・交流会
平成30年7月22日(日)～10月1日(月) 漆掻き作業
- ・場所 第1、第2、第3 漆木実験圃場（高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近）

- ・採取漆液 採取した漆液は、京都市産業技術研究所（NPO法人丹波漆の方の紹介）へ成分分析を実施。今後は採取した漆液をどのような活用方法ができるかを協議し、高岡漆器のPRとなるよう地域の漆職人及び富山大学芸術文化学部で漆工を学ぶ学生などと連携し、作業を行うこととしている。

4 地場産業支援事業

(1) 商品開発支援事業

①商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開を通じた情報提供を行ったほか、ニーズの把握に努め業界へのフィードバックを行った。

②POS 管理によるマーケティング支援

展示場での販売実績による POS データを活用し、消費者ニーズの分析を行い、業界へと還元した。また、POS データを取組む独自の販売集計システムの導入により、各施設における販売実績を迅速に処理し、産地組合等への情報提供に努めた。

(2) 産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア 高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して支援を行った。

イ 富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する工芸士展の開催等に対して支援した。

第 22 回富山県伝統工芸士展

- ・日 時 平成 30 年 11 月 27 日(火)～12 月 9 日(日)10:30～19:30
- ・場 所 日本橋とやま館
- ・内 容 高岡銅器、高岡漆器、井波彫刻、庄川挽物木地、越中和紙の伝統工芸士の作品全 102 点を展示。また、期間中に各産地の体験事業を開催することで集客に努めた。
 - 12 月 1 日(土) 鳴子彫刻体験(井波彫刻伝統工芸士会)
 - 12 月 2 日(日) スズ板彫り体験(高岡銅器伝統工芸士会)
 - 12 月 8 日(土) 螺鈿箸作り体験(高岡漆器伝統工芸士会)
 - 12 月 9 日(日) 紙塑民芸品絵付け体験(越中和紙伝統工芸士会)

ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・開催日 平成30年8月5日(日)
- ・場所 高岡地域地場産業センター 2階鋳物工房
- ・内容 「錫製バングル」の製作

(イ) 漆器に親しむつどい

- ・開催日 平成30年7月29日(日)
- ・場所 高岡地域地場産業センター
- ・内容 青貝塗り加飾の体験(小箱)

(ウ) 井波彫刻の体験教室

- ・開催日 平成31年2月3日(日)
- ・場所 木彫りの里
- ・内容 鳴子彫刻体験

(エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・開催日 平成30年9月18日(火)
- ・場所 砺波市立鷹栖小学校
- ・内容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

(オ) 越中和紙の体験教室

- ・開催日 平成30年7月25日(水)、11月19日(月)、26日(月)、29日(木)
- ・場所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・内容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

②その他団体に対する支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡巧美会

ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を行った。

- ・期間 平成30年7月20日(金)～25日(水)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主催 高岡巧美会(高岡市伝統工芸産業技術保持者)、高岡市

イ 高岡伝統産業青年会

第24回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・期間 平成31年2月10日(日)

- ・場 所 千葉県千葉市 幕張メッセ 「ワンダーフェスティバル 2019 冬」
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

ウ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業に対し支援を行った。

(ア)「高岡漆器展示会」の開催

- ・期 間 平成 30 年 9 月 19 日(水)～10 月 19 日(金)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター1 階ロビー

(イ)「第 53 回全国漆品展」への出展

- ・期 間 平成 30 年 10 月 4 日(木)～17 日(水)
- ・場 所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会、
(財)伝統的工芸品産業振興協会

(ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・期 間 平成 30 年 4 月 1 日(日)～平成 31 年 3 月 20 日(水)
- ・場 所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア

(エ) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・期 間 平成 30 年 11 月 1 日(木)～4 日(日)
- ・場 所 福岡県

エ 工芸都市高岡 2018 クラフトコンペティション実行委員会

工芸都市高岡 2018 クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・期 間 クラフト展 平成 30 年 9 月 21 日(金)～25 日(火)
- ・場 所 大和高岡店
- ・主 催 工芸都市高岡 2018 クラフトコンペティション実行委員会

5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

【収益事業】

1 不動産貸事業

入居者が快適に利用できるよう適宜清掃や修繕を行い、施設の環境整備に努めた。

2 施設貸出事業

更なる集客を得るためホームページからの施設仮申込みの受付や館内環境の整備を図りホール・会議室とも一層の利用率向上に努めた。

3 一般品目販売事業

施設利用者の利便に供するような飲料品や観光土産品等、公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の1割を目安に取り扱いを継続した。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1)理事会

ア 第19回理事会(みなし決議)

- ・開催日 平成30年4月1日(日)
- ・議事 副理事長(代表理事)の選定
専務理事(業務執行理事)の選定

イ 第20回理事会

- ・開催日 平成30年5月18日(金)
- ・議事 平成29年度事業報告及び収支決算の承認
定時評議員会の招集

ウ 第21回理事会

- ・開催日 平成31年3月28日(木)
- ・議事 平成31年度伝統産業支援事業助成金の審査・選考
資産取得資金の変更保有
平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)
資金調達及び設備投資の見込み

(2)評議員会

ア 第1回評議員会(みなし決議)

- ・開催日 平成30年4月1日(日)
- ・議事 役員及び評議員の選任
役員報酬規程の改正

イ 定時評議員会

- ・開催日 平成 30 年 6 月 4 日 (月)
- ・議事 平成 29 年度の決算書類の承認
役員の選任

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換を行った。

- 第 1 回幹事会 ・開催日 平成 30 年 6 月 7 日(木)
・場所 都城圏域地場産業振興センター(宮崎県)

- 第 2 回幹事会 ・開催日 平成 31 年 3 月 4 日(月)
・場所 名古屋金山研修センター(愛知県)